

共に年月を重ねて大人になるこどもたちのために

東日本大震災が発生して5年と1ヶ月が経つ。「あの日」から1週間後、南気仙沼小学校では卒業式が行われるはずだった。泥だらけの職員室から奇跡的に見つかったキャビネットから卒業証書を取り出し、避難所でもあった体育館で簡素な式典が行われたそうである。その証書を受け取った児童もいまでは新高校3年生である。5年が経ったいま、同年齢の生徒たちが被災地やそこに住む方々に思いを寄せることによって、本当の意味で、生徒たちのこころの成長につながると信じてやまない。決意をあらたに、**共に年月を重ねて大人になるこどもたちのために**、東北地域を盛り上げる活動を続けていく。

昨年は平安女学院高等学校の3年生が福島県から避難して来られた方と会い、また支援の中心においていた宮城県気仙沼市の仮設住宅にも赴くことができた。仮設住宅に住む方々から当時のご苦勞を聞かせて戴いただけではなく、温かく迎えて戴いたことも生徒にとってはうれしい驚きであった。テレビで見せられた悲惨な映像の地は、小高く整地され、漁港の町らしからぬ姿が印象に残った。

ところで、未曾有の大災害は2011年だけにあったわけでない。私たちは火山列島の上で生活する限り、地震や津波から逃れることは不可能であろう。さらに原子力発電所の事故により、災害が偶発的に起こるだけではないことを学んだ。自己の防災だけを心掛けるだけではなく、いつ、どこにいても、共に社会に生きる人間として震災の教訓を忘れてはいけないのではないか。 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「3.11を心に刻んで2016」

東日本大震災について、知識人はどのような意見を持っているのだろうか？私たちは地層のスペシャリストでもなければジャーナリストでもない。地震によってライフラインが遮断されただけではなく、現代人である私たちにとって「情報のあいまいさ」は大きな不安要素である。適切な判断をするには、知識や使命感を持つ人の言葉に耳を傾けることである。轍の読者の方々には一冊の本と、近日に京都で再上映される一本の映画を紹介したい。

○「**3.11を心に刻んで2016**」 岩波書店編集部 編 (岩波ブックレット)

↓↓↓↓↓↓↓

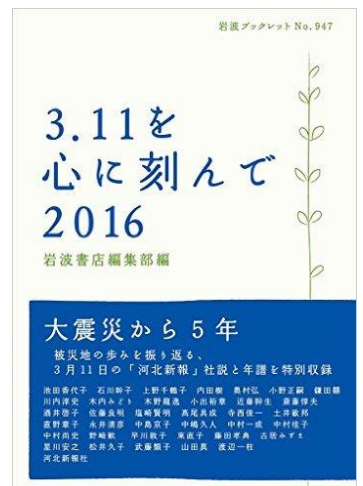
○「**ニッポンの嘘 報道写真家 福島菊次郎90歳**」(ドキュメンタリー映画)

立誠シネマプロジェクト 4/23(土)~5/6(金)

立命館大学 衣笠キャンパス 5/14(土)13:30~ (追悼公演もあり)

新入生・保護者のみなさまへ

東日本大震災被災地応援実行委員会では、毎月11日に校門前で募金活動を行っています。集計された募金は、すべて被災地の仮設住宅にお住まいの方々へ委員たちの思いをこめたプレゼントを送り続けています。どうぞご協力のほどよろしくお祈りします。



被災 5 年目私たちがやりたい事！

私たちが実行委員です。
今年度もご協力お願い
します！

- 被災した子供たちと遊びたい。少しずつでも前へと進めるように… J2 入江,H2 阪田
- 被災地のいいところ、綺麗なところ(絶景)を見つけ、みんなに PR したい。J2 入江
- 11 円募金の日に皆に協力してもらえるように訴えたい。J2 大江,・松川
- 募金の声かけ大きな声で頑張る。J2 立入・竹村

- 被災者と交流を深めたい。 J2 星山
- 小さい子供が楽しめるような物を作りたい。
公園とか今まで遊んでいたものが
なくなったと思うから。J2 高畑
- 被災地応援 DVD を作りたい。
被災地に行ってみたい。11 円募金で 1 ヶ月



- 2000 円以上を目指す。 J2 遠藤
- 募金の声を大きくしたりして、いっぱい集まるようにしたい。J2 横山
- 介護センターの訪問と、被災者と会って話してみたい。H2 阪田
- 子供たちと遊んだり、話を聞いたりして交流したい。 H1 上尾
- 被災地へ行って、地元の方とふれ会って話してみたい。H1 金本
- 一般の方にも 11 円募金してもらえるようにしたい。また、被災地へ
行きカレーでもつくりながら触れ合いたい。H1 岩岡
- 東日本の飼い主がいない動物のために何かしたい。 H1 富永
- 色々な場所へ被災者の方々の力になれるように呼びかけたい。お花を渡したりできたらいいなあ。H1 今井



- ご近所の方も呼びして 5 周年イベント開催したい。昔のおもちゃを贈りたい。 H3 三升
- 被災地に綺麗な花を贈りたい。色んな地域で被災地応援イベントを開催したい。 H3 江城
- 音楽の CD や、タオル作りなどしたい。11 円募金をする機会を増やしたい。 H3 岩本

・今年度も被災地のことを忘れない。5 年前よりもっと
気持ちが届くように頑張りたい。大きな声で募金を訴える。

H2 清水

- 季節ごとにお花を贈りたい。H3 井上、高野



- 被災地のマイナスイメージを無くしていくための活動をしたい。H3 森脇
- 被災地で行われている素敵なことの数々を PR していきたい。H3 矢田
- 気持ちのこもった支援活動をしていきたい。 H3 田中

